



『美術1』表紙 夢 アンリ・ルソー

1年の表紙は、素朴派とよばれた画家アンリ・ルソーの晩年の作品、「夢」です。日曜画家でありながら自分の才能を信じ、楽しみながら描き続けたルソー。生徒たちにも楽しんで描くことを大事にしてほしいと願い、この画家の作品を選びました。

著作者

酒井忠康 [美術評論家・世田谷美術館館長]

飯田真人 [桃山学院教育大学准教授]

上野行一 [元高知大学教授]

岡田匡史 [信州大学教授]

川上典李子 [デザインジャーナリスト]

後藤 晋 [元岡山県立岡山芳泉高等学校教諭]

近藤誠一 [元文化庁長官]

佐藤泰生 [画家]

菅沼 聖 [山口情報芸術センター主任エディタクター]

鈴木 斉 [元東京都羽村市立羽村第三中学校教諭]

鈴木雅之 [宮城県美術館教育普及部主幹]

澄川由紀 [島根県鹿足郡吉賀町立六日市中学校教諭]

住友文彦 [アーツ前橋館長・東京藝術大学大学院准教授]

竹内とも子 [東京都千代田区立九段小学校教諭]

田中真二郎 [秋田県大仙市西仙北中学校教諭]

直江俊雄 [筑波大学教授]

永関和雄 [元全国造形教育連盟委員長・元東京都町田市立町田第三中学校校長]

中村一哉 [実践女子大学講師・元東京都府中市立府中第五中学校校長]

名取和幸 [色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事]

西崎 渉 [元兵庫県神戸市立大池中学校校長]

野田弘志 [画家・広島市立大学名誉教授]

野中真理子 [映像作家]

橋本優子 [宇都宮美術館主任学芸員]

日比野克彦 [アーティスト・東京藝術大学教諭]

福岡伸一 [分子生物学者・作家・青山学院大学教諭]

降旗千賀子 [元目黒区美術館学芸員]

三沢厚彦 [彫刻家・武蔵野美術大学教諭]

柳沼宏寿 [新潟大学教諭]

安村敬信 [美術史家・一般財団法人北斎館館長]

山崎正明 [北翔大学教授・元北海道千歳市立北斗中学校教諭]

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代 [工学院大学准教授・NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)理事]



『美術2・3』表紙 虎図襖 長沢芦雪

2・3年の表紙は、長沢芦雪の「虎図襖」です。近年、奇想の絵師として注目されている芦雪。ダイナミックな筆使いを存分に味わってほしいと思い、表紙に大きく掲載しました。1年の表紙と並べて、東西の画家が描いた動物を比べて鑑賞してもおもしろいでしょう。

特別支援教育に関する校閲

佐島 毅 [筑波大学准教授]

他教科連携に関する校閲

宗我部義則 [お茶の水女子大学附属中学校教諭]

宮澤正明 [山梨大学名誉教授]

取材・撮影協力

飯田成子 [埼玉県朝霞市立朝霞第五中学校教諭]

加藤浩司 [三重県立飯野高等学校教諭]

小西悟士 [埼玉大学教育学部附属中学校教諭]

更科結希 [北海道教育大学附属訓路中学校教諭]

鈴木 司 [秋田公立美術大学美術教育センター長]

鈴野江里 [神奈川県鎌倉市立岩瀬中学校教諭]

宣 昌大 [大阪府摂津市立第三中学校教諭]

堤 祥晃 [滋賀県高島市立安曇川中学校教諭]

畠山真理 [東京都府中市立府中第六中学校教諭]

平町 公 [橘学苑中学校・高等学校教諭]

藤井康子 [大分大学准教授]

山本幹雄 [元神奈川県茅ヶ崎市立松林中学校教諭]

内容解説資料

発行者：小泉 茂 発行所：光村図書出版株式会社  
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9  
電話：03-3493-2111(代表)

光村図書ウェブサイト：www.mitsumura-tosho.co.jp

印刷：梅田印刷株式会社 デザイン：波井史生 [PANKEY inc.]

イラスト：丸山もゝ子 [株式会社博報堂クリエイティブ・ワークス]

写真：川原崎宣喜、鈴木俊介(P.9のみ)



子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。  
・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。  
・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。  
・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。  
・生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。  
・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。



光村図書



# 美術

令和3年度版 中学校

編集の趣旨と特色

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村図書

# 美術室で生まれた教科書です

授業でめいっぱい活用できる教科書にしたい——  
そのような思いから、  
新しい教科書づくりはスタートしました。

実際の授業を何度も取材し、  
「今の中学生にどのような題材が必要なのか」  
「どんな作品を鑑賞させたらいいのか」  
先生方と打ち合わせを重ね、  
具体的な授業をイメージしながら  
題材の構成を考えていきました。

新しい光村の「美術」は、  
学びの姿が見える教科書です。  
生徒たちにとっては、何を学ぶかがわかり、  
表現や鑑賞の意欲が高まる教科書。  
そして、先生方にとっては、  
授業の進め方のヒントになる教科書。

光村の「美術」を、ぜひ授業でご活用ください。



目次

[ 3つの特色 ]

- 1 授業が**見える** ..... 4
- 2 授業が**深まる** ..... 12
- 3 授業が**広がる** ..... 18

[ 新版教科書を知る14のキーワード ]

- 編集上のさまざまな配慮 ..... 22
- 充実のラインアップ ..... 25
- 題材内容一覧表 ..... 26
- 観点別 内容と特色 ..... 28
- 教科書に掲載した、各地域の主な作品 ..... 32

# 1 授業が見える

## 授業の流れを示し、主体的・対話的で深い学びへ

「表現」と「鑑賞」の相互関係を意識し、一つの題材の中で「表現」と「鑑賞」を一体的に学べるような構成にしています。学びの流れがひと目でわかるため、生徒が主体的に学習することができます。また、題材の初めに位置づけた「鑑賞」では、対話が生まれるような問いを示しました。

### [表現中心の題材の場合]

**目標** 生徒に伝わりやすい言葉で、その題材で身につける力を示しました。「表現」「鑑賞」の領域ごとに簡潔にまとめています。

**鑑賞** 題材の初めに、表現につながる鑑賞作品を掲載しました。また、対話が生まれるように鑑賞が深まる問いも示しています。

**表現 発想 構想** 作品の発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てを示しました。  
→ 詳しくはP.6~7



1年 P.22~25 「心ひかれるこの風景」

教科書の流れに沿って授業を組み立てれば、無理なく「表現」と「鑑賞」を関連づけて指導できそうだ。

**編集部**  
ここがこだわり!

題材の初めの「鑑賞」の問いは、生徒の対話が生まれるよう、何度も議論を重ね、言葉を精選しました。



題材の最初に、必ず鑑賞作品が掲載されているのね!



実際の生徒の制作過程がわかるのはいいね。自分の表現の参考にしたいな。



**表現 みんなの工夫**

中学生の制作過程を、段階を追って詳しく示しました。  
→ 詳しくはP.8~9

**鑑賞**

題材の最後に鑑賞を位置づけました。表現活動の後に、作品や作者の言葉を鑑賞することでより学びが深まります。



# 全ての表現題材に、発想や構想の手立てを

表現 発想 構想

表現中心の題材では、全ての題材に発想や構想の具体的な手立てを示しました。生徒の写真やアイデアスケッチなどを掲載し、具体的にどのように発想を広げ、構想を練っていくのかがわかります。

表現 発想 構想

少し視点を変えるだけで、日常の風景が急に生き生きと見えてくることもある。見慣れた風景を、新しい視点で捉え直してみよう。



時間帯や天気によって変化する光を意識する。



上の階の窓から、外の風景を見下ろしてみる。



下から木々を見上げてみる。



手で枠をつくったり、紙の見取り枠を使ったりして、風景を切り取るように構図を考えてみよう。切り取り方で、印象がずいぶん変わるはずだ。

編集部 ここがこだわり!

題材ごとに、発想や構想の力を育てるためにどのような手立てがあるか、先生方から広く意見を集め、具体的に示しました。

風景画の題材では、「見慣れた風景を、新しい視点で捉え直してみよう」と投げかけ、光を意識する、構図を考えるなどの手立てを写真とともに詳しく紹介しています。

制作に入る前に、生徒たちにこのページを見せて指導したい!



視点を変えると、全く違った世界が広がる。気になった風景は写真を撮ったり、スケッチしたりして記録しよう。



目線を地面に近づけてみる。



植物越しに風景を見える。

1年 P.23「心ひかれるこの風景」

表現 発想 構想

身近にある石を、粘土を使ってあらわそう。

## ●目と手で感じ取る



石を手にとって、大きさや重さ、触り心地を確認しよう。目をつぶると、より触覚に集中しやすくなる。

「思ったよりも冷たくて、表面はざらざらしている。同じ手触りをあらわせるかな。」



両手に石と粘土をそれぞれ握って量感を確認してみよう。

「石は思ったよりもずっしりと重く感じるよ。どうやったら、ずっしりとした石の量感をあらわせるだろう。」



自分のつくっているものと同じ目線に石を置いて比べてみよう。

「同じ目線で比べてみると、石の形がくっきりと見えてくる。どうやったら本物に近づけるかな。」

## ●材料や用具の使い方を工夫する



色の見本を参考にしながら、色を混ぜて、本物に近い色をつくり出そう。



筆だけでなく、雑巾やティッシュペーパーに絵の具をつけ、なじませるように塗ることで、石らしい色むらを表現できる。



生徒作品

石  
樹脂粘土、彩色  
左:高さ2.8cm  
下:高さ3cm

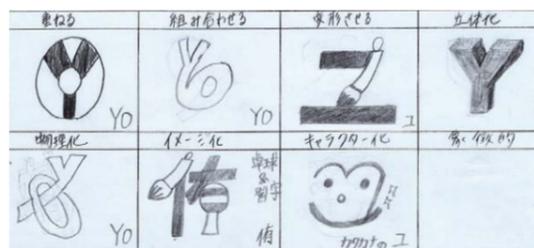


### 1年 P.15「自然の形や色を見つめて」

自然物を観察して、本物らしく立体であらわす題材では、目を閉じて対象物を触ってみる、両手で対象物を握って量感を確認するなどの手立てを示しました。

表現 発想 構想

あらわしたい内容からイメージを広げ、見る人の印象に残るマークをつくろう。



生徒作品

I'm fine 紙、ポスターカラー 14×14cm

自分をあらわすマーク。左はアイデアスケッチ。自分の名前から発想を広げ、七つの案を考えた。片仮名の「ユ」の形をもとに作品を仕上げた。



発想を広げる方法って、いろいろあるんだね。



### 1年 P.47「印象に残るシンボルマーク」

色や形を工夫して印象に残るシンボルマークをつくる題材では、生徒のアイデアスケッチを掲載しました。

# 生徒の制作過程を詳しく紹介

表現

みんなの工夫

4ページの表現中心の題材では、「みんなの工夫」と題し、2名の生徒の制作過程を詳しく紹介しています。実際の中生が発想・構想し、試行錯誤しながら作品を制作する過程を知ること、生徒が自分の表現に生かすことができます。

編集部

ここがこだわり!

実際の授業を何度も取材し、作品ができるまでを記録。生き生きとした生徒たちの姿を捉えました。

へえ～！こんな風に風景を描いていったのか。私だったらどう描こうかな。



試行錯誤して制作している様子が伝わってくる紙面だ。生徒に見せたいなあ。



**表現 みんなの工夫** 学校の「とっておきの場所」を描こう。

**毎日通る道。**「これから自分が進んでいく道」として表現したい。

① 奥行きを出すため、画面を際にするのを決める。

② 「道が続いていく感じ」を表現するため、視線を低くし、風景を何度も確認。

③ 水たまりに映った青空が美しく見えたので、明るい色で強調して描く。

④ 遠近感を出すため、手前の色を重ねて濃くする。

**生徒作品**  
ずっと 紙、鉛筆、アクリル 29.7×21cm  
**作者の言葉**  
中学3年間、毎日通る道なので「これから自分が進んでいく道」としてあらわそうと思いました。道が長く伸びて見えるように、遠近感を意識して描くよう心がけました。

**校門の横にある緑を見とるとほっとする。**優しい色合いで描きたい。

① この場所の「優しい雰囲気」を出すため、少し花に近づいた構図を考える。

② 光の当たっている様子をあらわすため、影をしっかりと描き込む。

③ 葉の色はそれぞれ違う。風景を見ながら絵の具を混ぜ、さまざまな緑色をつくる。

④ 手前にある白い花は、細い筆を使い、水を少なめにして色をつける。

**生徒作品**  
緑の休憩所 紙、鉛筆、アクリル 21×29.7cm  
**作者の言葉**  
小さな白い花がたくさん咲いていて、見ているとほっとする場所です。優しい雰囲気を出すため、全体を淡い緑色にし、光が当たっていることをあらわすために、葉の色に濃淡をつけました。

1年 P.24 「心ひかれるこの風景」



「みんなの工夫」一覧

- ✓ 1年 P.12 「見つめ、感じ取り、描く」  
「お気に入りのものを描こう」(全3時間)という、1年の最初に行う、描く楽しさを味わわせる授業を取材。
- ✓ 1年 P.24 「心ひかれるこの風景」  
「自分の宝場所」(全8時間)という、学校の中のとっておきの場所を見つけて描く授業を取材。



- ✓ 1年 P.42 「生活をいろいろ文様」  
自然や身近なものから発想を広げて、文様をデザインする授業(全6時間)を取材。



- ✓ 2・3年 P.8 「風景に思いを重ねて」  
「私の心の風景を描こう」(全10時間)という、風景に自分の思いを重ねて描く授業を取材。
- ✓ 2・3年 P.46 「今の自分、これからの自分」  
「今の自分やこれからの自分を描こう」(全8時間)という自分をあらわす授業を取材。



- ✓ 2・3年 P.58 「メッセージを伝える」  
環境保護を呼びかけるポスターをつくる授業(全8時間)を取材。



- ✓ 2・3年 P.72 「地域の魅力を伝える」  
「ふるさとをパッケージング!」(全8時間)という、地域の名産品の魅力が伝わるパッケージデザインを考える授業を取材。



# 充実した巻末資料

材料や用具、技法、形と色彩など、さまざまな資料を巻末にまとめました。中学生が取り組みやすい具体例を示しながら、丁寧に解説しています。



技法や用具の使い方、「共通事項」の資料に加え、発想の広げ方や美術史など、必要ときに参考にできる巻末資料を充実させました。ラインアップは下記のとおりです。

## 1年

描くための材料と用具 **どれで描く？どれで塗る？**

描くための材料と用具 **描いてみよう**

描くための材料と用具 **さまざまな描き方**

描くための材料と用具 **版画の楽しみ**

生活の中の文字 **文字をデザインする**

つくるための材料と用具 **紙でつくる**

つくるための材料と用具 **粘土でつくる**

つくるための材料と用具 **木でつくる**

形と色 **形の世界を知ろう**

形と色 **色や光の特徴を知ろう**

美術館を楽しもう

美術鑑賞を楽しむ手がかり

## 2・3年

発想・構想 **発想を広げる**

映像メディアの活用 **写真や映像を撮影する**

映像メディアの活用 **映像で広がる世界**

つくるための材料と用具 **金属でつくる**

つくるための材料と用具 **石でつくる**

つくるための材料と用具 **材料の可能性**

色の世界 **色を組み合わせる**

色の世界 **日本の伝統色**

日本美術史 **海を越えた文化交流**

美術史年表

日本の伝統工芸

日本の世界文化遺産

地域と美術とのつながり

美術の力

描くための材料と用具

## どれで描く？どれで塗る？

自分があらわしたいことを表現するには、どんな材料で描くのがよいだらう。同じものを描いても、描く材料によって作品の印象は変わってくる。ここに紹介した以外にもいろいろな材料がある。あらわしたいイメージに合ったものを見つけよう。

### 鉛筆でできること

同じ鉛筆でも描き方によって、さまざまな表現ができる。芯の硬さを変えてみたり、持ち方を変えてみたりして、工夫しながら描いてみよう。



### 鉛筆



細かい部分を描くときは鉛筆を立てて描こう。



大きな面を描くときは鉛筆を寝かせて描こう。



明暗の段階を描いておくとうまくいく。

### 色鉛筆でできること

色鉛筆は1色で描くのもよいが、複数の色を塗り重ねて混ぜながら使うと表現の幅が広がる。



タッチを変えて色を重ねることで、複雑な表現ができる。



水に溶ける水彩色鉛筆もある。

### 色鉛筆



色鉛筆で描いた作品。タッチによる表現の違いを確認してみよう。

## 水彩絵の具

### 水彩絵の具でできること

水彩絵の具は筆の使い方や水の分量の工夫でいろいろな表現ができる。アクリル絵の具やポスターカラーも水に溶かして使う絵の具だ。絵の具の特徴を知って、自分の表現に生かそう。



にじみ



ぼかし



吸い取り



かすれ

### いろいろな描き方

にじみ……下の絵の具が乾く前に、上から別の色を塗るとにじみができる。

ぼかし……塗った絵の具の上に、水を含ませた筆でなぞるとぼかしができる。

吸い取り……絵の具が乾く前にティッシュペーパーなどで水分を吸うと、色をなじませたり、むらをつくったりできる。

かすれ……水分の少ない絵の具を、乾いた筆につけ、紙をほうきで掃くように塗るとかすれたような表現になる。

### アクリル絵の具を使う

アクリル絵の具は乾くと水に溶けなくなる。また、紙だけでなく、石や木など、さまざまなものに描くことができる。



石に塗った例



木に塗った例



粘土に塗った例

**注意**  
アクリル絵の具は、乾くと落ちなくなるので、衣服などについたときには、その場ですぐに洗おう。

### パステルでできること

パステルは粉末の顔料を固めたものだ。使い方の工夫でさまざまな表現ができる。



パステルで描いた作品。凹凸のある紙を使うと、パステルの粉が定着しやすく描きやすい。



パステルは削って粉にし、指やティッシュペーパーでぼかすとやわらかな表現ができる。

### パステル



# 2 授業が深まる

## 書き込んで鑑賞を深める

「最後の晩餐」を鑑賞する題材では、トレーシングペーパーを綴じ込み、書き込みができるようにしました。一点透視図法などの作者の表現の工夫を、より実感的に理解でき、学びを深めていくことができます。

**編集部**  
ここがこだわり！  
綴じ込むトレーシングペーパーについては、素材や厚さなど、何度もテストを繰り返し、生徒が書き込みやすいものを選びました。

実際に線を引くことで、一点透視図法を体感できるんだね！

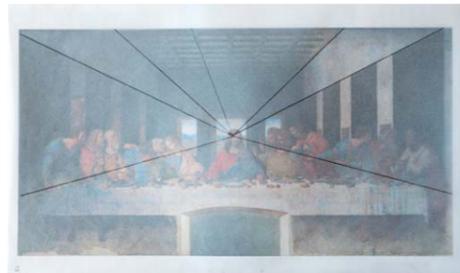


### トレーシングペーパーに書き込んで鑑賞する

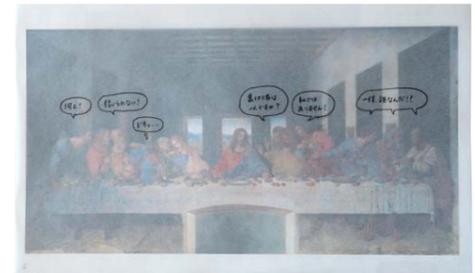
線を引いて消失点を探したり、描かれている人物の手や顔の表情を読み取って吹き出しを書いてせりふを考えたりするなど、トレーシングペーパーを使って、より鑑賞を深めることができます。書き込みながら鑑賞することで、レオナルド・ダ・ヴィンチの表現の意図や工夫をより実感的に理解することができます。



#### 【書き込みの例】



線を引いて消失点を探し、一点透視図法を学ぶ。



人物の手や顔の表情を読み取り、せりふを書き込む。



## レオナルドとその時代

**目標** ●作者や作品の背景をもとに、新たな創造を目指した作者の表現の意図や工夫を感じ取る。

イタリア・ルネサンスの時代は、美術の歴史において素晴らしい作品が生まれた。なかでもレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画は、芸術の傑作だ。ここではレオナルドの美の真髄へと追ってみよう。

- 「最後の晩餐」の消失点はどこだろう。
- 描かれた人物たちの巧みな描写、特に手のポーズの多様さを確認しよう。



修道院の内部。絵が描かれた当時、ここは食堂だった。ミラノは、イタリア北部の都市。



●「最後の晩餐」の概要  
ミラノにあるサンタ・マリア・デルレ・グラツィエ修道院の食堂の壁に描かれたもので、レオナルドが40代のときの作品である。縦が4.2m、横が9.1mもある巨大な壁画で、現存するレオナルドの作品の中で最大のものだ。1977年から1999年にわたって大規模な修復が行なわれ、汚れが落とされて鮮やかな色彩がよみがえった。

●「最後の晩餐」はどういう場面か  
中央にキリストが、その左右に6人の人物（この12人はキリストの弟子）がいる。うつむいたキリストが何かをしゃべり、それを聞いた弟子たちがざわつき、驚きの表情をしている。ここに描かれているのは、キリストが磔刑になる前の晩で、弟子たちを前に「この中の一人の裏切りで、自分は磔になる」と告白している場面。これが最後の食食となるので「最後の晩餐」というわけだ。



修復により、キリストの口が開いていることがわかった。

●ここに注目  
レオナルドの絵画の科学、つまり遠近法と明暗法と解剖学がふんだんに盛り込まれている。遠近法は、空間を描く技法だが、絵の構図が一点に集中するように配されていて、それによって画面に奥行きが出ている（これを一点透視図法といい、集中する一点を「消失点」という）。明暗法は光の描写によるもので、光と陰影、それに色彩を巧みに描いて、絵画のさまざまな効果を生み出している。さらに人物の描写には、解剖学の研究成果が駆使されている。



解剖を通して人体を知り尽くしていたレオナルドは、人物のこまやかな表情や、生き生きとした手の動きを描くことができた。

文(P.10~15)：布施英利  
1960年群馬県出身。美術批評家。  
著書に『君はレオナルド・ダ・ヴィンチを知っているか』など。

最後の晩餐  
壁画 テンペラ 420×910cm 1495~98年  
サンタ・マリア・デルレ・グラツィエ修道院蔵(イタリア)  
レオナルド・ダ・ヴィンチ [1452~1519 イタリア]

10 道徳科とのつながり 真理の探究・創造・感動・畏敬の念  
消失点を探すために線を引くなど、トレーシングペーパー(薄紙)を活用しよう。



「レオナルドとその時代」は、美術批評家の布施英利さんが原稿を執筆してくださいました。布施さんは光村図書「国語」2年の教材文「君は『最後の晩餐』を知っているか」の著者です。

2・3年 P.10~  
「レオナルドとその時代」

### 次のページに……

「最後の晩餐」を鑑賞した後に、レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯や、他の作家が描いた「最後の晩餐」を学ぶことで、さらに作品への理解が深められます。また、ルネサンスについての解説につなげることで、美術史に目を向けることもできます。

2・3年 P.14~15  
「レオナルドとその時代」



2 授業が深まる

# 比べて鑑賞し、理解を深める

関連性の高い作品は一つの題材で扱い、  
比較して鑑賞することで、  
作品の理解を深める工夫をしました。

表裏で紹介されているから、  
二人の関連性が説明しやすい！



ゴッホって北斎の影響  
を受けているんだね。

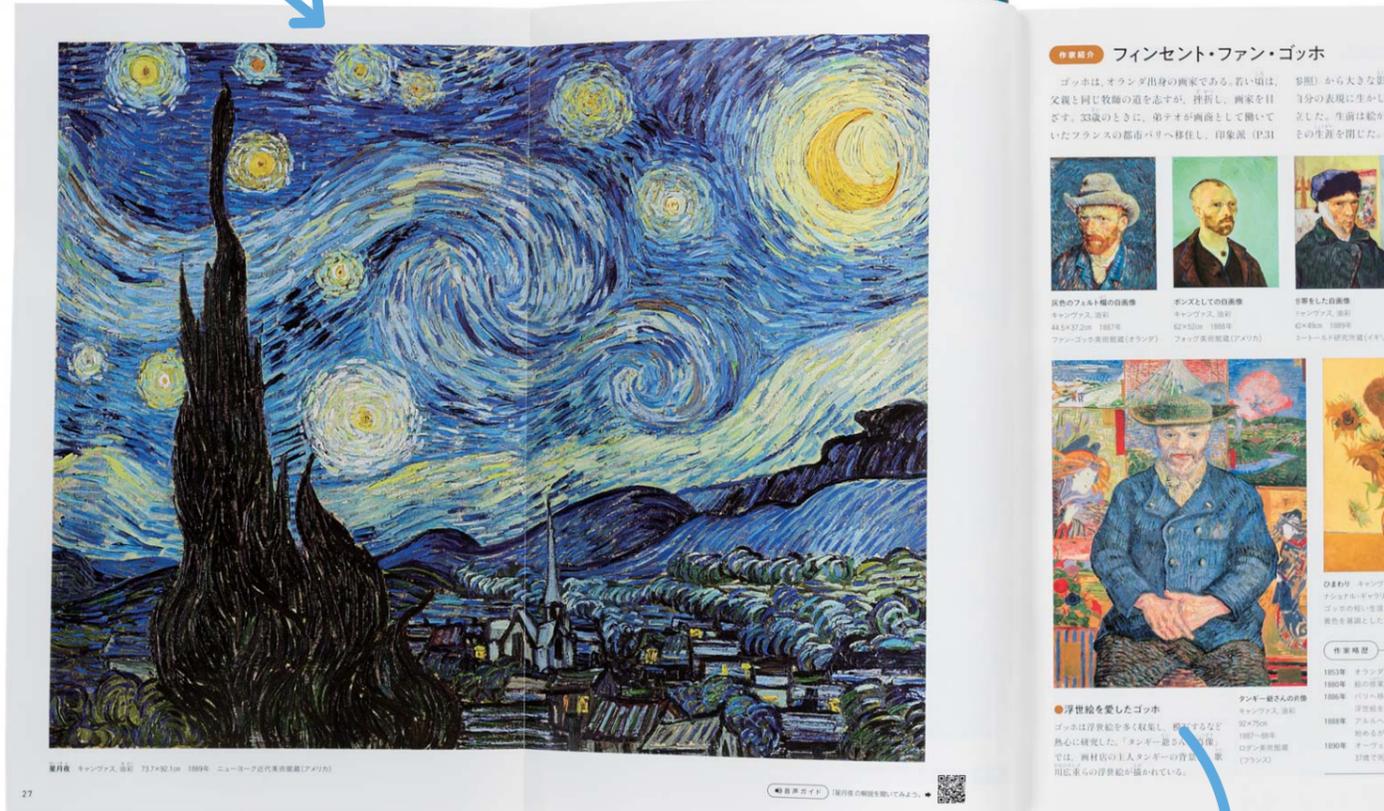


北斎とゴッホを、片観音開き  
(3ページ)で大きく紹介！

めくると……



2・3年 P.24～26「北斎からゴッホへ」



2・3年 P.27～29「北斎からゴッホへ」

めくると……



## ほくさい 北斎とゴッホの 作品を比較する

北斎とゴッホの代表作を  
掲載し、さらに北斎とゴッホそれぞれの作家紹介  
を設けることで、ゴッホ  
が北斎から大きな影響を  
受けたことを感じ取れる  
ようにしました。

北斎とゴッホの作品を鑑賞  
した後、ジャポニスムや印  
象派の学習ができるんだね。



2・3年 P.30～31「北斎からゴッホへ」

# 本物に近い風合いで鑑賞する

鑑賞図版は、より本物に近い感覚で見ることができるよう、図版の見せ方や紙質に工夫を凝らしました。  
 「鳥獣人物戯画」や版画作品は、風合いのある用紙に印刷しています。

編集部

ここがこだわり!

本物に近い風合いを再現するため、さまざまな紙をテストし、最終的に越前和紙の風合いをもつ高級用紙を選びました。

「鳥獣人物戯画」って、現代の漫画にも通じる表現があるなあ。表裏で印刷されているから、比べて見るとおもしろいね。



2・3年 P.36～37 「絵巻物と漫画の表現」

めくると……



2・3年 P.38～39 「絵巻物と漫画の表現」



軽やかな筆づかいか、動物の生き生きとした表情がよくわかるね!



「鳥獣人物戯画」を原寸大で、風合いのある用紙に印刷

「鳥獣人物戯画」を鑑賞する題材では、風合いのある用紙に原寸大で印刷。まるで本物を見ているかのような感覚を味わえます。



1年 P.18～19 「版であらわす美しさ」



1年 P.20 「絵から物語をつむぐ」

版画作品を鑑賞するページでは、中学生の力強い作品と、画家・吉田博の幻想的な木版画を表裏で印刷しました。

# 3 授業が広がる

## 他教科とのつながりを意識して

題材の随所に、他教科とのつながりを示すコラムを設け、美術での学びが他教科とどうつながるのか、実感をもって理解できるようにしました。

編集部  
ここがこだわり！  
全国の先生方に、美術と他教科をどう関連させて指導されているか広く調査し、コラム作成に生かしました。

### 鑑賞 地域をテーマにデザインされた文様と、その用途を見てみよう。

富山もよう「garasu」  
2014年  
鈴木マサル  
[1968～千葉県出身]  
富山県の自然や名産品などをもとにつくられた文様のシリーズのうちの一つ。この文様をさまざまなものに使っている。

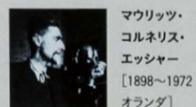


富山もようがデザインされたペン立てとマスキングテープ。

### 数学科とのつながり

#### ● エッシャーの敷き詰め模様

エッシャーは鉱物の結晶構造や、生物のうろこのようなモザイク文様など、秩序が放つ美に興味をもち、自分の作品に反映させる方法を追求した。平面や球面の分割、タイル模様が徐々に変容していくプロセスなど、興味深い作品が多数ある。なかでも、エッシャーが終生挑戦し続けたのが、同じ形を平面に隙間なく敷き詰めるというテーマだ。正多角形のうち、これが可能なのは正三角形、正方形、正六角形だけであるが、たとえば正方形の上下・左右を、互いに他を補うように変形すれば、同一のペガサス模様で平面を覆うことができる。彼はこれをさらに拡張し、魚と鳥、天使と悪魔などのおもしろいパターンで平面を覆うアイデアを次々と生み出した。



マウリッツ・コルネリス・エッシャー [1898～1972 オランダ]

画家。細かな描写を得意とし、植物や動物の模様を連続させた作品や、錯視を利用した作品などを数多く残している。

文：福岡伸一  
1959年東京都出身。生物学者。著書に『生物と無生物のあいだ』『フェルメール 光の王国』など。



平面の正則分割105/部分(ペガサス) 紙、ペン、水彩 30.3×23cm 1959年



平面の正則分割25/部分(トカゲ) 紙、鉛筆、インク、水彩 35.9×26.8cm 1939年  
同じトカゲの形を敷き詰めた作品。



昼と夜 紙、木版 39×67.4cm 1938年 横浜美術館蔵(神奈川県)

1年 P.43  
数学科とのつながり  
「エッシャーの敷き詰め模様」  
「生活をいどる文様」という文様をデザインする題材では、1年の数学科で学習する「平面図形」と関連させて、エッシャーの敷き詰め模様を紹介しました。



原稿は生物学者・福岡伸一さんにお願しました。エッシャーの大ファンという福岡さんに、エッシャーがなぜ敷き詰め模様に興味をもったか、どのように模様をつくったのかなどをお書きいただきました。

### 「他教科とのつながり」コラム一覧

#### ✔ 国語科とのつながり

「古典文学と屏風絵」(1年 P.37) 「漢字の成り立ち」(1年 P.45)  
「美術鑑賞を広げる言葉」(1年 P.80) 「コピーを考える」(2・3年 P.59)

#### ✔ 社会科とのつながり

「火焰型土器 装飾に込めた願い」(1年 P.53)

#### ✔ 数学科とのつながり

「エッシャーの敷き詰め模様」(1年 P.43)

#### ✔ 理科とのつながり

「自然が教えてくれるもの」(1年 P.74)

#### ✔ 家庭科とのつながり

「生活を豊かにする食の文化」(1年 P.55)

### 家庭科とのつながり

#### ● 生活を豊かにする食の文化

箸を制作するときには、家庭科で学ぶ食文化の大切さを意識しよう。また、できあがった箸を使って実習でつくったものを食べたり、箸袋を縫ったりしてみよう。食の楽しみは私たちの生活を豊かにする。



主観作品  
箸と箸置きと箸袋  
コクタン、布地 箸・長さ20.7cm 箸置き・長さ5cm 箸袋・長さ25cm

1年 P.55 家庭科とのつながり「生活を豊かにする食の文化」

「木と親しむ暮らし」という木工芸の題材で、制作した箸に合う、箸袋をつくることを提案しました。

### メッセージを伝える

●多くの人にメッセージが伝わるように、絵や文字などの組み合わせを考え、工夫してデザインする。  
●ポスターなどを鑑賞し、効果的にメッセージを伝える工夫を学べる。

ポスターやテレビコマーシャルなど、メッセージを伝えるためには、さまざまな方法がある。どのようなデザインなら、より多くの人にメッセージが伝えられるだろうか。絵、写真、文字などを効果的に組み合わせ、伝えたい内容にふさわしいデザインを考えよう。

鑑賞 ポスターを見て、メッセージを伝えるために、それぞれどのような工夫がされているか話し合おう。

#### ● 平和の大切さを伝える



ヒロシマアピールズ 徳久暁子画  
103×72.8cm 1983年  
電通監製 [1975～87 新潮社出版] イラストレーション: 橋山 尚  
ヒロシマ・アピールズは、世界中に平和を呼びかける取り組みとして1983年に始まった。毎年、一人のデザイナーが平和をテーマにしたポスターをデザインし、国内外に広く頒布する。



ヒロシマアピールズ 鳥たち  
103×72.8cm 1984年  
監製 藤 肇 [1929～2009 東京都出身]



ヒロシマアピールズ  
ヒロシマアピールズ  
103×72.8cm 2015年  
監製 藤 肇 [1929～2009 東京都出身]

56 道徳科とのつながり 公正、公平、社会正義/社会参画、公共の精神

2・3年 P.56 「メッセージを伝える」

国語科とのつながり	もとの形	昔の漢字	今の漢字
● 漢字の成り立ち 漢字は今から3000年以上前に中国で使われ始めた。長い年月の中でさまざまな漢字が生まれたが、なかには二つ以上の字を組み合わせて生まれたものもある。例えば「集」は、「木」と鳥を意味する「雀」を組み合わせた文字だ。たぐさんの小鳥が群れて木に止まる様子から、「集まる」という意味で使われるようになった。文字の成り立ちについて知り、デザインの発想に生かそう。			

1年 P.45 国語科とのつながり「漢字の成り立ち」  
「文字で楽しく伝える」という文字をデザインする題材で、漢字の成り立ちを紹介し、デザインの発想に生かせるようにしました。

### 社会科とのつながり

#### ● 火焰型土器 装飾に込めた願い

この土器が作られたのは、今から約5000年前といわれる。人々は軟らかな土からさまざまな形を生み出し、火にくべることで固く焼き締め、土器をつくった。縄文時代の人々も、土から自由に形を生み出す楽しさを感じていたのかもしれない。表面の文様は何をイメージしたのだろうか。どうしてこのような装飾を施したのか想像してみよう。



中学生の野焼き体験  
縄文土器は野外で直接火にくべる「野焼き」という方法でつくられた。

火焰型土器 No.1(四三)  
粘土 高さ46.5cm  
縄文時代中期  
新潟県佐和田市  
佐和田市博物館蔵(新潟県)  
粘土のひもを湯呑ま状に結んだり、装飾を施したりして、器を造るという考えられている。「縄文器炎」という愛称がある。



1年 P.53 社会科とのつながり「火焰型土器 装飾に込めた願い」  
「生活の中の焼き物」という陶芸の題材で、社会科で学習する縄文土器のつくり方や装飾について紹介しました。



美術って、いろんな教科とつながっているんだね。

### 道徳科とのつながり

生徒が道徳との関連を意識して学べるよう、関連する題材では、ページ下部に道徳科の内容項目を示しました。

➡ 関連する内容項目の一覧はP.26～27

この項目を見て、道徳科との関連を意識しながら指導していきたいな。



道徳科とのつながり 公正、公平、社会正義/社会参画、公共の精神

3 授業が広がる

# QRコードからさまざまなコンテンツへ

題材の随所に、QRコードを掲載。授業をさらに深め、広げるウェブコンテンツにリンクしています。

## 技法動画 全33本

色の重ね方が実感的に理解できる早回し動画や、用具の使い方や制作の流れがわかる動画など、表現活動に役立つ映像資料を多数ご用意しています。

**風景を描く**

水彩絵の具で風景を描いている様子を、動画で見てください。



2:03

風景を描く際、色の重ね方がとても重要です。下描きから完成までの一連の流れを紹介した早回し動画なら、手順がよくわかります。




1年 P.24 「心ひかれるこの風景」

1年 P.24 「心ひかれるこの風景」



授業に役立つコンテンツがいっぱい！  
教科書と一緒に活用したいな。

➡ QRコードに対応したコンテンツの一覧は P.26~27

## 360度動画

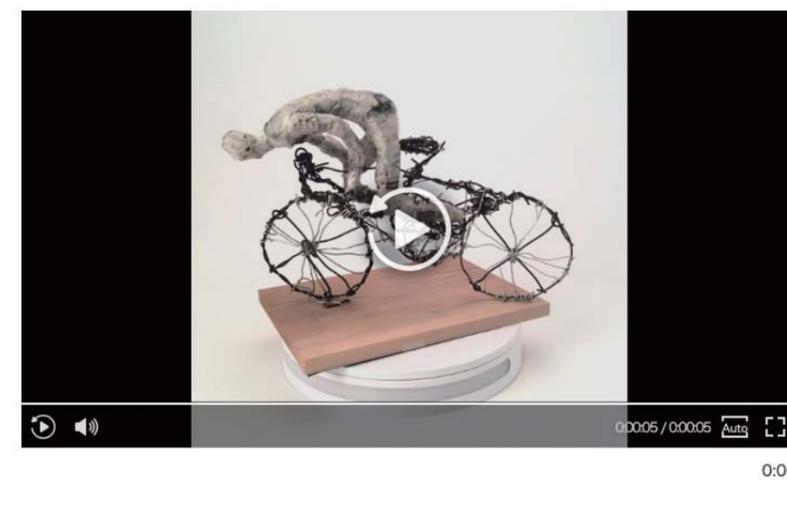
全21本

立体の生徒作品については、さまざまな角度から鑑賞できる動画をご用意しています。



好きな角度で止めて見ることができるので、さまざまな視点から作品を鑑賞でき、作者の工夫点がよくわかります。

## 掲載作品をいろいろな角度から見てみよう



0:00/0:06

## 音声ガイド 全5本

大きく掲載されている鑑賞図版については、音声ガイドを聞くことができます。鑑賞の授業の導入に使える1分程度の音声です。

ぼんさん  
「最後の晩餐」音声ガイドの原稿

「この中に裏切り者がいる。」

中央に座ったキリストが、弟子たちにそう告げた場面。その言葉を聞き、弟子たちは動揺しています。彼らの表情やポーズから、心の中をのぞいてみましょう。右端の3人は…… (1分23秒の音声収録されています。)

### 音声ガイドを聞くことのできる作品

- ◎ 「風雷神神図屏風」1年 P.31~34
- ◎ 「最後の晩餐」2・3年 P.13
- ◎ 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」2・3年 P.25~26
- ◎ 「星月夜」2・3年 P.27~28
- ◎ 「ゲルニカ」2・3年 P.49~52




2・3年 P.14 「レオナルドとその時代」

2・3年 P.14 「レオナルドとその時代」

## 全国の生徒作品

約200点

全国の中学生の作品を、作者の言葉とともに見ることができます。また、画像だけを保存することもできるので、授業の中で作例を見せたい場合にご活用いただけます。



「自分を見つめてあわす」「風景をあらわす」などのカテゴリごとに、生徒作品を掲載しています。

## 自分を見つめてあわす

作品を選択すると、その作品の全体と作者の言葉がご覧いただけます。

 <p>フルスイング</p> <p>紙、アクリル / 36.4x25.7cm / 埼玉県, 3年</p>	 <p>選択</p> <p>紙、アクリル / 51.5x36.4cm / 埼玉県, 3年</p>	 <p>私との対話~未来の自分は~</p> <p>紙、パステル / 29.6x42cm / 岩手県, 3年</p>
 <p>モザイクアイマ</p>	 <p>大好きなこと</p>	 <p>向上心</p>

# 14 のキーワード

編集上のさまざまな配慮

50 音順

## 1 安全指導への配慮

巻末の「学習を支える資料」では、彫刻刀やのこぎりなどの道具を使う際の注意事項を、注意喚起のマークとともに示しました。

1年 P.65「版画の楽しみ」



## 2 カリキュラム・マネジメント

教科横断的な資質・能力を伸ばすため、特に他教科との関わりが深い題材には、「他教科とのつながり」を示すコラムを設けています。

詳しくはP.18~19

## 3 キャリア教育

職場体験で感じたことをもとにつくった生徒作品を掲載しました(1年P.47)。職業を経験した後に制作することで、よりその職業への理解が深まります。

## 4 国際理解

海外の生徒作品を掲載したり、「美術の力」(2・3年P.103)と題して、美術には国境や言葉を超え、力があることを紹介したりしました。

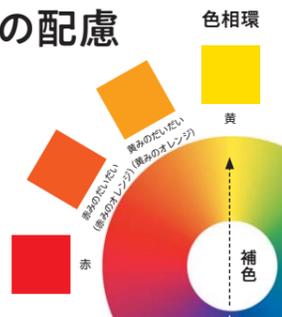
2・3年 P.17

「空想の世界へようこそ」ブルガリアの中学生の作品



## 5 色覚特性への配慮

全学年全ページにわたり、専門家の校閲を受け、色覚特性によって学習に支障をきたすことがないように配慮しています。



1年 P.78「色や光の特徴を知ろう」

色覚特性をもつ生徒が文字でも色を覚えられるよう、色相環に色名を入れました。

## 6 主体的・対話的で深い学び

各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いを示しました。また、各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。

詳しくはP.4~5

## 7 肖像権や知的財産権への配慮

作品には著作権があることや、写真や映像を撮るときは著作権や肖像権に十分に配慮することを、注意喚起のマークとともに示しました。



1年 P.63

「さまざまな描き方」カラーージュ

## 8 人権教育への配慮

人権について考えさせる作例を、幅広く掲載しました。

2・3年 P.59「メッセージを伝える」



生徒作品  
二人で生きる  
紙、ポスターカラー  
54×38cm  
LGBTの人たちが生きやすい  
社会になってほしい、という  
メッセージを込めたポスター。

## 9 図画工作科との接続

美術での学びを楽しくスタートできるように、導入として「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」(1年P.6~9)というページを設け、生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感をもてるようにしました。また、デザインの題材に入る前には「デザインって何だろう?」(1年P.38~39)というページを設け、デザインそのものへの理解が深められるよう配慮しました。



「美術で学ぶこと」(1年 P.8~9)では、中学3年間の学習内容、教科書の使い方、スケッチブックやノートの活用のしかたなどを、写真とともにわかりやすく紹介。

## 10 多様性

生徒たちに美術文化の多様性を感じてほしいと願い、さまざまな国や地域、時代の作品を選び、掲載しました。例えば「世界の仮面と出会う」(1年P.56~57)では、日本や西洋だけでなく、アフリカやアジアなどの仮面も掲載しています。

## 11 伝統文化

題材の中で適宜、伝統工芸を取り上げたり、47都道府県全ての伝統工芸を紹介するページ(2・3年P.97~99)を設けたりしました。



2・3年 P.64~65「季節感のある暮らしを楽しむ」

和菓子や日本の伝統工芸を紹介。

## 12 特別支援教育への配慮

全学年全ページにわたり、専門家の校閲を受けました。図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。また、文字がやや小さくなる場合は、UD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。



2・3年 P.94~96「美術史年表」年表など、小さい文字で掲載する場合は、UDフォントを使用しています。



## 13 防災教育への配慮

さまざまな危険から身を守ることにについて考えることができる作例や、復興を願ってつくられた作品などを掲載しました。



2・3年 P.61「わかりやすく情報を伝える」

津波から命を守るデザインを紹介。

# 14 SDGs 持続可能な社会へ

持続可能な社会のために行動できる主体を育てるため、SDGsに関連する作例を幅広く掲載しています。→各題材とSDGsの関連はP.26~27

## 11 住み続けられるまちづくりを



2・3年 P.75 「心安らく場をつくる」南相馬 みんなの遊び場  
東日本大震災や熊本地震の後につくられた建築を紹介。

## 12 つくる責任、つかう責任



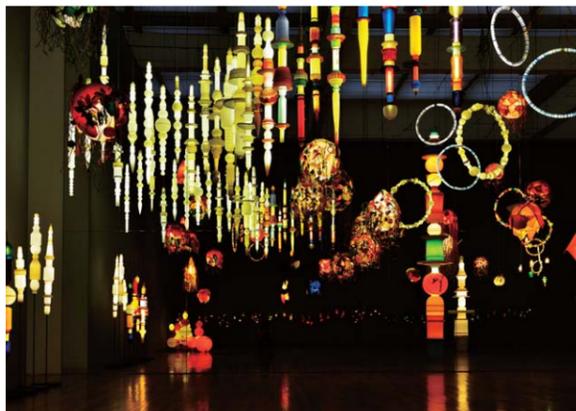
2・3年 P.57 「メッセージを伝える」MOTTAINAI傘プロジェクト  
使い捨てのビニール傘でなく、一つの傘を長く使おうとよびかけるキャンペーンを紹介。

## 13 気候変動に具体的な対策を



2・3年 P.103 「美術の力」ワールドプロセッサー  
「地球温暖化と寒冷化」「オゾンの減少」など、地球上で起きている問題を可視化した作品を紹介。

## 14 海の豊かさを守ろう



2・3年 P.84 「材料の可能性」  
浜辺のごみでつくったランプの展示  
海岸に流れ着くごみを拾い集めランプをつくる作家の作品を紹介。

## 15 陸の豊かさを守ろう



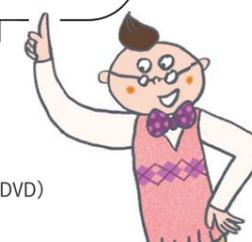
1年 P.45  
「文字で楽しく伝える」  
さまざまな動物の形を組み合わせ  
て「宝」という文字をつくり、動物  
愛護を訴えるポスターを掲載。

## 16 平和と公正をすべての人に



2・3年 P.56  
「メッセージを伝える」  
ヒロシマ・アピールズの取り組みを紹介。

# 充実のラインアップで学習をサポート!



## 学習指導書

指導のポイントを、わかりやすく視覚的に示しました。(朱書編、指導編、ワークシート、掲示用掛図、DVD)



学習指導書 朱書編  
教科書の縮小紙面に、題材の流れ、作品掲載の意図、作家紹介などをわかりやすくまとめています。



学習指導書 指導編  
題材の授業展開例を詳しく紹介。授業がイメージしやすいようオールカラーで、写真を多く掲載しています。

学習指導書も  
オールカラー

## 拡大教科書

弱視の生徒の学習上の負担を減らすために作成した教科書です。通常の教科書を単純に拡大するのではなく、より読みやすい文字の大きさや書体、図版で、教科書の内容を損なわないよう再構成しています。

通常の教科書



拡大教科書



## ウェブサイト

令和3年度版中学校「美術」教科書に関する情報や、授業づくりに役立つ教授用資料を随時アップしていきます。

[https://www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c\\_kyokasho/bijutsu/](https://www.mitsumura-tosho.co.jp/2021c_kyokasho/bijutsu/)



# 題材内容一覧表

- ◎学習指導要領との関連
- ◎カリキュラム・マネジメントへの視点 (他教科・道徳・SDGsとの関連)
- ◎QRコードに対応したウェブコンテンツ

SDGs  
(持続可能な開発目標)  
達成すべき17の目標



## [美術1]

ページ	領域等	題材名	学習指導要領との関連		他教科との関連	道徳との関連 (関連する内容項目)	SDGsとの関連	QR対応コンテンツ	
			A表現	B鑑賞					
2-4	導入	うつくしい!		(1)ア(ア)イ(ア)				動画	
6-7		美術って何だろう?		(1)ア(ア)					
8-9		美術で学ぶこと	(2)ア(ア)	(1)ア(ア)					
10-13	表現 絵や彫刻など	見つめ、感じ取り、描く	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(ア)				生徒作品例 / 技法動画	
14-15		自然の形や色を見つめて	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(ア)				作品動画	
16-17		人のしぐさを捉える	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)		相互理解, 寛容			
18-19		版であらわす美しさ		(1)ア(ア)					
20-21		絵から物語をつむぐ		(1)ア(ア)					
22-25		心ひかれるこの風景	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(ア)				生徒作品例 / 技法動画	
26-27		見えないものをあらわす	(1)ア(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)					
28-29		材料に命を吹き込む	(1)ア(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)			12		
30-37		鑑賞 風神雷神 一受け継がれる日本の美		(1)ア(ア)イ(イ)		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度/感動, 畏敬の念		国語科	音声ガイド
38-39		デザインって何だろう?		(1)ア(イ)イ(ア)			12		
40-43	表現 デザインや工芸など	生活をいどる文様	(1)イ(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ	数学科	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度/国際理解, 国際貢献		生徒作品例	
44-45		文字で楽しく伝える	(1)イ(イ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ	国語科		15	生徒作品例	
46-47		印象に残るシンボルマーク	(1)イ(イ) (2)ア(ア)	(1)ア(イ)イ(ア)		社会参画, 公共の精神	3 8		
48-49		気持ちを伝えるデザイン	(1)イ(イ) (2)ア(ア)	(1)ア(イ)イ(ア)イ		思いやり, 感謝			
50-51		鑑賞 形や材料を比べてみよう		(1)ア(イ)イ(ア)					
52-53		表現 生活の中の焼き物	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ	社会科			生徒作品例	
54-55		表現 木と親しむ暮らし	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ	家庭科	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	12 15	生徒作品例	
56-57		鑑賞 世界の仮面と出会う		(1)ア(イ)イ(イ)		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度/国際理解, 国際貢献			作品写真
58-59		学習を支える資料	どれで描く? どれで塗る?	(2)ア(ア)イ					技法動画
60-61			描いてみよう	(2)ア(ア)イ					技法動画
62-63	さまざまな描き方		(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				技法動画	
64-65	版画の楽しみ		(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				技法動画	
66-67	文字をデザインする		(2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ				技法動画	
68-69	紙でつくる		(2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ(イ)イ(イ)				技法動画	
70-71	粘土でつくる		(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)				技法動画	
72-73	木でつくる		(2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ				技法動画	
74-75	形の世界を知ろう		(1)ア(ア)イ(ア)イ(イ)ウ (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)イ	理科				
76-78	色や光の特徴を知ろう		(1)ア(ア)イ(ア)イ(イ)ウ (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)イ					
79	美術館を楽しもう			(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)					
80-81	美術鑑賞を楽しむ手がかり			(1)ア(ア)イ	国語科				

## [美術2・3]

ページ	領域等	題材名	学習指導要領との関連		他教科との関連	道徳との関連 (関連する内容項目)	SDGsとの関連	QR対応コンテンツ
			A表現	B鑑賞				
2-4	導入	うつくしい!		(1)ア(ア)イ(イ)				
6-9		表現 風景に思いを重ねて	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				生徒作品例 / 技法動画
10-15		鑑賞 レオナルドとその時代		(1)ア(ア)イ(イ)	国語科	真理の探究, 創造/感動, 畏敬の念		音声ガイド
16-17		空想の世界へようこそ	(1)ア(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)				生徒作品例
18-19		表現 想像の生物をつくる	(1)ア(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ(イ)				生徒作品例 / 作品動画
20-21		あれ? どうなっているの	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				作品動画
22-23		墨で描く楽しさ	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度		技法動画
24-31		鑑賞 北斎からゴッホへ		(1)ア(ア)イ(イ)		真理の探究, 創造/我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度/国際理解, 国際貢献/感動, 畏敬の念		音声ガイド
32-33		表現 形と色の挑戦	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				作品動画
34-35		表現 環境とともに生きる彫刻	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(ア)		社会参画, 公共の精神	11	作品動画
36-39	鑑賞 絵巻物と漫画の表現		(1)ア(ア)イ(イ)		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度			
40-41	表現 躍動感を捉える	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				作品動画	
42-43	表現 思い出を形に	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)		よりよい学校生活, 集団生活の充実		作品動画	
44-47	今の自分, これからの自分	(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)		向上心, 個性の伸長/よりよく生きる喜び		生徒作品例 / 作品動画	
48-55	鑑賞 ゲルニカ, 明日への願い		(1)ア(ア)		国際理解, 国際貢献/生命の尊さ/感動, 畏敬の念	16	音声ガイド	
56-59	表現 デザインや工芸など	メッセージを伝える	(1)イ(イ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)	国語科	公正, 公平, 社会正義/社会参画, 公共の精神	12 13 15 16	生徒作品例
60-61		わかりやすく情報を伝える	(1)イ(イ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)		社会参画, 公共の精神	3 11 13	資料図版
62-63		みんなのためのデザイン	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)	(1)ア(イ)イ(ア)		思いやり, 感謝/社会参画, 公共の精神/よりよく生きる喜び	3 11	
64-65		季節感のある暮らしを楽しむ	(1)イ(ア) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)イ		郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度/自然愛護		
66-67		あかりがつくる空間	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)	(1)ア(イ)イ(ア)			11	
68-69		鑑賞 さまざまな椅子のデザイン		(1)ア(イ)イ(ア)				作品写真
70-73		表現 地域の魅力を伝える	(1)イ(イ) (2)ア(ア)イ	(1)ア(イ)イ(ア)		社会参画, 公共の精神/郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	8 11	
74-75		鑑賞 心安らぐ場をつくる		(1)ア(イ)イ(ア)		社会参画, 公共の精神/よりよく生きる喜び	9 11 12	作品写真
76-77		発想を広げる	(1)ア(ア)イ(ア)イ(イ)ウ	(1)ア(ア)イ				
78-79		写真や映像を撮影する	(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				
80-81	映像で広がる世界	(2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ				作品動画	
82	金属でつくる	(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)				技法動画	
83	石でつくる	(2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)				技法動画	
84-85	学習を支える資料 材料の可能性	(2)ア(ア)	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)			12 14		
86-87	色を組み合わせる	(1)ア(ア)イ(ア)イ(イ)ウ (2)ア(ア)イ	(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)イ					
88-89	日本の伝統色		(1)ア(イ)イ(ア)イ					
90-93	海を越えた文化交流		(1)ア(ア)イ(イ)イ(イ)	社会科				
94-96	美術史年表		(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)イ	社会科				
97-99	日本の伝統工芸		(1)ア(イ)イ(ア)イ	社会科		8		
100-101	日本の世界文化遺産		(1)ア(イ)イ(ア)イ	社会科		11		
102	地域と美術とのつながり		(1)ア(ア)イ(ア)			8 11		
103	美術の力		(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)イ			3 13 16 17		
104-105	導入	うつくしい!		(1)ア(ア)イ(ア)				

観点… 1 目標達成への配慮				
観点	内容と特色	該当ページ		
編集上の配慮がされているか。 教育基本法や学校教育法の理念を踏まえているか。	教育基本法への対応	教育基本法の理念を踏まえ、美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけられるよう、題材の設定や掲載作品の選定などに配慮されている。	全体	
	学校教育法への対応	学校教育法に示された教育の目的及び目標を踏まえ、題材の設定や掲載作品の選定、文章表現などが行われている。全題材において資質・能力の三つの柱に基づく目標が明示され、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、生きる力を支える能力を養えるよう配慮されている。	全体	
	社会に開かれた教育課程への配慮	1年の導入に「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」というページを設け、美術で何をどのように学ぶのかを生徒と保護者が共有できるように工夫されている。また、表紙の「保護者の皆様へ」では、美術科を学ぶ意義が伝えられている。 つくった作品を飾ったり使ったりする活動や、地域・生活と関わりの強い作品などを掲載し、実生活で美術が果たしている役割を具体的に示している。また、「地域と美術とのつながり」というページを設け、生徒が生活と美術との関連を意識できるよう工夫されている。	表紙 1年/P.6-9  1年/P.38-39, P.43, P.44, P.48, P.67 他 2・3年/P.35, P.70-73, P.102 他	
学習指導要領の教科の目標や内容を踏まえて編集上の配慮がされているか。	教科の目標への対応	全ての題材に、造形的な見方・考え方に関わる目標が明記されており、美術科での学習を通して資質・能力の三つの柱が育まれるよう配慮されている。	全題材	
		各題材の最初に表現につながる鑑賞図版を掲載し、表現と鑑賞を一体的に学習できるよう構成が工夫されている。	全題材	
	知識及び技能	全ての題材に造形的な見方・考え方を働かせることを促す目標を設け、美術科における知識の実感を伴う理解及びその活用につながるよう配慮されている。	全題材	
		巻末の「学習を支える資料」では、〔共通事項〕や創造的・表現的・技術的・美的技能、美術史に関わる基礎的な資料などが掲載されているとともに、関連する題材のページには巻末資料へのリンクが示されている。生徒が知識及び技能を習得・活用しやすいよう構成が工夫されている。	1年/P.58-81 2・3年/P.76-103	
		技能に関して、題材のページでは、完成作品と合わせて制作の手順も適宜掲載されている。生徒が技能を習得し、活用する手助けとなるよう工夫されている。	1年/P.12, P.15, P.17, P.24, P.42, P.45, P.48, P.55 他 2・3年/P.8, P.21, P.23, P.32, P.35, P.40, P.43, P.46, P.58, P.61, P.65, P.72 他	
		技能に関して、技法や制作過程の動画のウェブコンテンツが用意され、該当するページにQRコードが示されている。生徒の表現活動を支援できるよう工夫されている。	1年/P.13, P.24, P.58, P.60, P.62, P.64, P.66, P.70, P.72 2・3年/P.8, P.20, P.23, P.82-83	
		生徒の創造的な発想や構想の手がかりとなるよう、教科書全体を通して多くの生徒作品を掲載するとともに、特に4ページ構成の表現中心の題材では、「みんなの工夫」と題して2名の生徒の制作過程を詳しく紹介している。作家の言葉やアイデアスケッチ、「作家の発想・構想」というコラムなども掲載されており、生徒が発想や構想を広げ深められるよう工夫されている。	全題材 1年/P.12, P.15, P.24, P.42 2・3年/P.8, P.9, P.41, P.46, P.58, P.72	
		「発想を広げる」というページを設けて多様な発想の手法を紹介し、生徒が発想を広げる手がかりとなるよう工夫されている。	2・3年/P.76-77	
	資質・能力の三つの柱への対応	思考力、判断力、表現力等	全ての題材において鑑賞活動を設定し、身近にあるものや風景、美術作品などからよさや美しさを感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を深められるよう配慮されている。	全題材
		学びに向かう力、人間性等	教科書全体を通して、親しみやすい作品を選定したり問いかけを設定したりするなど、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組むことができるよう構成が工夫されている。	全体
生徒の制作過程を詳しく紹介した「みんなの工夫」や作家の言葉などを掲載し、粘り強く学習に取り組む態度が育まれるよう配慮されている。			全題材 1年/P.12, P.24, P.42 2・3年/P.8, P.46, P.58, P.72	
1年冒頭および2・3年冒頭・末尾の谷川俊太郎氏による文章「うつくしい!」や、1年のオリエンテーション「美術って何だろう?」「デザインって何だろう?」、2・3年の「美術の力」など、豊かな感性や思いやりを育み、美術の学びを人生や社会に生かそうとすることができるよう工夫されたページが設けられている。	1年/P.2, P.6-7, P.38-39 2・3年/P.2, P.103, P.105			

主体的・対話的で深い学びへの対応	全ての題材において、最初に鑑賞活動を提示するとともに、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いかけがあわせて示されている。	全題材
	全ての題材において、「表現」と「鑑賞」の活動をアイコンで示し、各題材の学びの流れを明確にして、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	全題材
	「みんなの工夫」をはじめ生徒の制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう、工夫されている。	1年/P.12, P.24, P.42 他 2・3年/P.8, P.46, P.58, P.72 他
〔共通事項〕の取り扱いへの配慮	生徒が主体的に表現活動を行えるよう、巻末の「学習を支える資料」では、材料や用具の扱い方、〔共通事項〕に関わる内容が詳しく掲載されている。	1年/P.58-78 2・3年/P.78-89
	各題材の冒頭に〔共通事項〕を意識させる鑑賞の問いかけが示されており、〔共通事項〕の内容を実感的に理解しながら学習を進めることができるよう配慮されている。	全題材
	巻末の「学習を支える資料」では、形・色・材料・光に関する資料が設けられており、生徒が〔共通事項〕の資料を適宜参照できるよう工夫されている。	1年/P.68-78 2・3年/P.82-89

観点… 2 学習・指導への配慮		
観点	内容と特色	該当ページ
カリキュラム・マネジメントへの対応	特に他教科と関連する題材には、「〇〇科とのつながり」というコラムを設け、他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮されている。	1年/P.37, P.43, P.45, P.53, P.55, P.74, P.80 2・3年/P.59
	教科書の全てのページについて、専門家による他教科連携に関する校閲を受けている。	全体
道徳教育への対応	「他者への思いやり」「人権」「平和」「伝統文化」「自然」「環境」など、道徳教育に関連する題材が積極的に取り上げられており、豊かな情操を養い、道徳心を涵養する内容となっている。	全体
	特に道徳と関連する題材のページの左下には、「道徳科とのつながり」というマークとともに道徳科の内容項目を示し、生徒が道徳との関連を意識して学ぶことができるよう工夫されている。	1年/P.16, P.37, P.40, P.46, P.48, P.54, P.56 2・3年/P.10, P.22, P.24, P.30, P.34, P.36, P.42, P.44, P.53, P.56, P.60, P.62, P.64, P.70, P.74
	東日本大震災などの自然災害の後につくられた美術作品や取り組みを随所で取り上げ、困難を乗り越え、よりよく生きようとする心を育めるよう配慮されている。	1年/P.46, P.73 2・3年/P.33, P.57, P.61, P.67, P.74-75
	さまざまな国や地域の作品や、作家の個性を生かした作品を掲載することで、多様な価値観を認め、相互理解の心を育めるよう配慮されている。	全体
図画工作科との接続への配慮	美術での学習を無理なくスタートできるよう、1年の導入に「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」というページを設け、生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感がもてるよう工夫されている。	1年/P.6-9
	1年に「デザインって何だろう?」というページを設け、デザインそのものへの理解が深められるよう配慮されている。	1年/P.38-39
言語活動の充実への配慮	各題材の最初に、鑑賞図版とともに問いかけを設けており、生徒が主体的に作品を鑑賞し、自然に対話が生まれるよう工夫されている。	全題材
	他者と意見交換をしながら作品をつくる様子や、作者の思いや制作の意図を伝える「作者の言葉」を掲載するなどして、生徒のコミュニケーション能力の育成と言語活動の充実を図るよう配慮されている。	全題材 1年/P.11-12, P.42, P.80 2・3年/P.8, P.21, P.46, P.57-58, P.61, P.65, P.71-72, P.77
平和教育や国際理解への配慮	生徒に平和を希求する心が育つよう、平和や国際理解について考えさせるきっかけとなるような作品や取り組みが積極的に取り上げられている。	2・3年/P.48-55, P.56 他
	日本だけでなく、世界のさまざまな国や地域の作例が取り上げられている。それらを比較鑑賞し、共通点や違いを考えさせるような問いかけも設定されており、自国の文化だけでなく、他国の文化も尊重する態度が養われるよう配慮されている。	各題材 1年/P.40-41, P.56-57

観 点	内 容 と 特 色	該 当 ページ
人権教育への配慮	全体を通して、写真に写る生徒や登場するキャラクターなどに性別による偏りが見られない。取り上げる作品の作者についても性別や国籍による偏りがなく、多様性を尊重しながら学ぶことができるよう配慮されている。	全体
	高齢者や子供、LGBT、障がいのある人たちなどに関連する美術の動きを掲載し、多様性を受け入れ、他者を思いやる人間性が育まれるように配慮されている。	1年/P.47, P.50, P.54 2・3年/P.59, P.62-63, P.103
伝統文化・地域文化への配慮	47都道府県の伝統工芸や国内の世界文化遺産を紹介したり、文化財を大きく掲載したりするなど、日本の伝統文化への理解が深まるよう配慮されている。また、題材で適宜工芸品を取り上げるとともに、日本の国宝に指定されているものについては、生徒が理解できるような作品名に「(国宝)」と添えて示されている。	各題材 1年/P.30-37, P.54 2・3年/P.2-4, P.24-26, P.36-37, P.65, P.88-89, P.90-91, P.94-96, P.97-99, P.100-101
	地域の工芸品、アイヌや琉球の民俗衣装など、郷土で育まれてきた美術文化が積極的に紹介されており、それらを楽しみ、大切に育てられるよう配慮されている。	2・3年/P.97-99 他
	日本だけでなく、さまざまな国や地域の文様や仮面などの美術文化が積極的に紹介されているとともに、巻末の「学習を支える資料」では、「海を越えた文化交流」の歴史も掲載されている。自他の美術文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。	1年/P.40-41, P.56-57 他 2・3年/P.90-93 他
環境教育への配慮	身の回りの自然をあらわす活動や、自然の材料を生かしてつくる作品、環境保護・動物愛護を訴えるデザインなどを随所に取り上げ、美術の学習を通して自然を大切に育てられるよう配慮されている。	1年/P.2-4, P.10-13, P.14-15, P.28-29, P.45, P.74 2・3年/P.57-59, P.64-65, P.84, P.103
防災教育への配慮	災害時に役立つデザインや震災からの復興を願った作品などが積極的に掲載されており、生徒が災害について考え、防災意識を高められるよう配慮されている。	1年/P.46, P.73 2・3年/P.33, P.57, P.61, P.67, P.74-75
キャリア教育への配慮	美術家やデザイナーなど、社会で活躍するつくり手の活動や言葉が示されており、生徒の職業への意識や、勤労を重んずる態度が養われるよう配慮されている。	1年/P.15, P.67 他 2・3年/P.9, P.41 他
知的財産権や肖像権への配慮	写真や動画を撮影する活動やコラージュの解説では、他者の著作権や肖像権を侵害することのないよう、注意を促す文章が注意喚起のマークとともにわかりやすく示されている。	1年/P.63 2・3年/P.79
安全指導への配慮	巻末の「学習を支える資料」では、刃物を扱うときや金属加工の際などの注意事項が、注意喚起のマークとともにわかりやすく示されている。	1年/P.59, P.62, P.65, P.73 2・3年/P.82
情報機器の利用への配慮	カメラやタブレット端末を使った作品が積極的に掲載されているとともに、巻末の「学習を支える資料」で、情報機器の使い方が説明されており、生徒が関心をもって正しく活用できるよう配慮されている。	各題材 2・3年/P.78-79, P.80-81
SDGs (持続可能な開発目標)への配慮	平和や人権問題、環境や地域文化・伝統文化、多様性への配慮など、現代的な諸課題に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や、主体的な取り組みを促すよう配慮されている。	1年/P.45, P.47, P.54 他 2・3年/P.56-59, P.61, P.62-63, P.74-75, P.102, P.103 他
特別支援教育・色覚特性への配慮	教科書の全てのページについて、専門家によるカラーユニバーサルデザイン（色覚特性）及び特別支援教育に関する校閲を受けている。	全体
	図版と図版の間をあけたり、罫線を引いたりして、学習上支援が必要な生徒も境界を明確に区別できるよう配慮されている。	全体
教科書のウェブコンテンツについて	全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、見やすく読みまちがえにくいUD(ユニバーサルデザイン)フォントが使用されている。	全体
	題材に関連する技法の動画や掲載作品の音声ガイドなどのウェブコンテンツが用意され、該当するページにQRコードが示されている。生徒の表現活動や鑑賞活動を支援できるよう工夫されている。	1年/P.4, P.12-13, P.14, P.24-25, P.36, P.42, P.44, P.52, P.54, P.57, P.58, P.60, P.62, P.64, P.66, P.70, P.72 2・3年/P.8, P.14, P.17, P.18-19, P.20, P.23, P.26, P.28, P.33, P.35, P.40, P.43, P.46-47, P.55, P.58, P.60, P.68, P.75, P.80, P.82-83

観 点 … 3 使用上の配慮・工夫			
観 点	内 容 と 特 色	該 当 ページ	
構成・分量・配列	生徒の発達段階への配慮	1年では、幼児教育や図画工作科とのつながりを考え、2・3年では、身につけた資質や能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮した構成となっている。	全体
		2・3年を1冊にまとめ、豊富な題材を各校の実情に合わせて選択できるよう配慮されている。	2・3年
		巻末の「学習を支える資料」では、基礎的な材料や用具の資料が主に1年にまとめられている。3年間を通して生徒自らが必要に応じて参照できるよう、構成が工夫されている。	1年/P.58-78 2・3年/P.78-89
	題材の配列・分量	題材の内容に応じて「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」と領域を明記し、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」という分野ごとに構成することで、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮されている。	全体
		3学期制、2学期制どちらにも対応できるよう、題材数、領域のバランスが工夫されている。	全体
		巻末に、材料や用具の扱い方や〔共通事項〕に関わる資料などをまとめた「学習を支える資料」を設け、生徒が必要に応じて活用できるよう工夫されている。	1年/P.58-81 2・3年/P.76-103
		教科書全体を通して、絵や彫刻、デザインや工芸の他、カメラや情報機器を使うなどさまざまな技法の作品を幅広く取り上げ、生徒が多様な表現方法の中から自分の主題に合うものを選択できるよう配慮されている。	全体
		鑑賞中心の題材では、他者と対話する、作品を比較する、美術文化について知識・理解を深めるなど、多様な切り口の鑑賞活動がバランスよく示されている。	鑑賞中心の題材
		全ての題材で目標が示されており、身につける力や学習のねらいが生徒に明確に伝わるよう工夫されている。	全題材
		発達段階や、生徒の学習意欲を喚起することを考慮し、作品が選定されている。	全体
地域や時代、性別に偏りが出ないよう配慮し、また、生徒の主体的・対話的な学びが生まれるような作品が選定されている。	全体		
多くの生徒作品を掲載し、特に発想や構想の段階での工夫に着目して選定されている。	全体		
表記・表現	書体・表記への配慮	全体を通して読みやすさに配慮し、文字がやや小さくなる場合には、見やすく読みまちがえにくいUD(ユニバーサルデザイン)フォントが使用されている。	全体
		図版や写真のキャプションには、作品の名称、材料や技法、大きさ、制作年、作者名と生没年・出身地が示されている。適宜、簡潔な解説文が添えられており、学習を進める上で有効な情報となるよう配慮されている。	全体
	マークの示し方	教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。	全体
印刷・製本	造本の工夫	版画や絵巻物を鑑賞する題材では風合いのある用紙を使用したり、「最後の晩餐」を鑑賞する題材では、鑑賞図版の上から書き込みできるトレーシングペーパーを綴じ込んだりするなど、鑑賞活動が深まるよう、造本の工夫がされている。	1年/P.19-20 2・3年/P.10-13, P.37-38
		片観音開き(3ページ)や両観音開き(4ページ)のページが設けられ、作品が大きく掲載されており、視覚的に生き生きとした紙面構成で、生徒の興味・関心や学習意欲を高められるよう工夫されている。	1年/P.2-4, P.31-34 2・3年/P.2-4, P.25-26, P.27-28, P.49-52
	印刷の鮮明さ	鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色のよいコート紙が使用されている。	全体
	製本の堅牢性	製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方も工夫されている。	全体
環境への配慮	環境への負荷が少ない用紙と植物油インキを用いており、環境の保全や生徒の健康に対して、十分な配慮がされている。	全体	

# 教科書に掲載した、各地域の主な作品

教科書『美術1』、『美術2・3』に掲載した、各地域と関連のある作品をご紹介します。



## 47都道府県の伝統工芸を紹介

「日本の伝統工芸」(2・3年 P.97~99)では、日本の伝統工芸に対する理解や見方を深めるため、各都道府県の伝統工芸を掲載しています。



### 北海道



アットウシアミブ (アットウシ織の着物)



お菓子メーカーの紙袋



二風谷イタ



モエレ沼公園

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
北海道	アイヌ民族の衣服の文様	1	40
	鯉文花器(エミール・ガレ, 北海道立近代美術館蔵)	2・3	30
	モエレ沼公園(イサム・ノグチ)	2・3	35
	お菓子メーカーの紙袋	2・3	70
	ブラック・スライド・マントラ(イサム・ノグチ)	2・3	83
二風谷イタ	2・3	97	
アットウシアミブ(アットウシ織の着物)	2・3	99	

### 東北



南相馬 みんなの遊び場(福島県)



曲げわっぱの  
弁当箱  
(秋田県)



気仙沼市  
震災復興計画

気仙沼市震災復興計画のシンボルマーク (宮城県)



中尊寺金色堂(岩手県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
青森県	星空をペガサスと牛が飛んでいく(八戸市新美術館建設推進室蔵)	1	18-19
	スタンディング・ウーマン(ロン・ミュエク, 十和田市現代美術館蔵)	2・3	96
	津軽塗	2・3	97
秋田県	曲げわっぱの弁当箱	1	54
	ナマハゲの面(赤鬼)	1	57
	曲げわっぱのカップ	1	72
岩手県	樺細工	2・3	98
	南部鉄器	2・3	98
	中尊寺金色堂	2・3	100
宮城県	ボタン(佐藤忠良)	1	16
	気仙沼市震災復興計画のシンボルマーク	1	46
	木のキーホルダー onagawa fish	1	73
山形県	宮戸島月浜のみんなの家	2・3	75
	雄勝硯	2・3	97-98
	映画「ゴジラ」(本多猪四郎)	2・3	19
福島県	天童将棋駒	2・3	98
	観光タイポグラフィポストカード「福島県」	1	44
	宇宙象(サルヴァドール・ダリ, 諸橋近代美術館蔵)	2・3	19
福島県	南相馬 みんなの遊び場	2・3	75
	大塚相馬焼	2・3	98

### 関東



益子焼(栃木県)



2020年東京オリンピック・パラリンピックのシンボルマーク



日光東照宮陽明門(栃木県)



鎌倉彫  
(神奈川県)

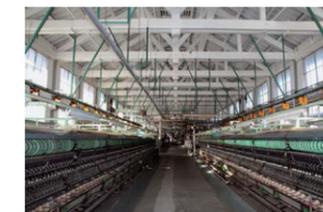


最中のパッケージ(千葉県)



すみだ北斎美術館

すみだ北斎美術館のシンボルマーク(東京都)



富岡製糸場の内部(群馬県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
東京都	自画像(松本竣介, 東京都現代美術館蔵)	1	16
	燕子花図屏風(尾形光琳, 根津美術館蔵)	1	37
	国立科学博物館のシンボルマーク	1	46
	すみだ北斎美術館のシンボルマーク	1	46
	2020年東京オリンピック・パラリンピックのシンボルマーク	1	47
	江戸手描提灯	1	67
	トンネルのある風景(山下清)	1	69
	松林図屏風(長谷川等伯, 東京国立博物館蔵)	2・3	23
	富嶽三十六景 山下白雨(葛飾北斎, 東京富士美術館蔵)	2・3	24
	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(葛飾北斎, 東京国立博物館蔵)	2・3	25-26
陽を浴びるポプラ並木(クロード・モネ, 国立西洋美術館蔵)	2・3	30	
睡蓮(クロード・モネ, 国立西洋美術館蔵)	2・3	31	
自画像(藤田嗣治, 東京国立近代美術館蔵)	2・3	44	
東京マラソンのランナーを応援する広告	2・3	59	
TOKYO STATION VISION	2・3	81	
東京スカイツリーのライティング	2・3	89	
読書(黒田清輝, 東京国立博物館蔵)	2・3	93	
鮭(高橋由一, 東京藝術大学大学美術館蔵)	2・3	93	
八橋時絵螺鈿硯箱(尾形光琳, 東京国立博物館蔵)	2・3	95	
見返り美人図(菱川師宣, 東京国立博物館蔵)	2・3	95	
三代目大谷鬼次の江戸兵衛(東洲斎写楽, 東京国立博物館蔵)	2・3	95	
海の幸(青木繁, 石橋財団アーティゾン美術館蔵)	2・3	96	
道路と土手と堀(切通之写生)(岸田劉生, 東京国立近代美術館蔵)	2・3	96	
海(古賀春江, 東京国立近代美術館蔵)	2・3	96	
径(小倉遊亀, 東京藝術大学大学美術館蔵)	2・3	96	
考える人(拡大作)(オーギュスト・ロダン, 国立西洋美術館蔵)	2・3	96	
ヘア・リボンの少女(ロイ・リキテンスタイン, 東京都現代美術館蔵)	2・3	96	
江戸切子	2・3	98	
国立西洋美術館本館	2・3	100	
埼玉県	岩槻人形	2・3	97
神奈川県	鎌倉彫	1	72
		2・3	98
	哄笑(岡本太郎, 川崎市岡本太郎美術館蔵)	2・3	33
	立てる像(松本竣介, 神奈川県立近代美術館蔵)	2・3	45
	海辺の母子像(パブロ・ピカソ, ポーラ美術館蔵)	2・3	54
造形「さがみ風」展	2・3	102	
千葉県	観光タイポグラフィポストカード「千葉県」	1	44
最中のパッケージ	2・3	71	
房州うちわ	2・3	98	
栃木県	大家族(ルネ・マグリット, 宇都宮美術館蔵)	2・3	16
益子焼	2・3	97	
日光東照宮陽明門	2・3	100	
群馬県	桐生織	2・3	97
富岡製糸場	2・3	100	
茨城県	結城紬	2・3	97
アーカスプロジェクト	2・3	102	

# 中部



富山もよう「garasu」(富山県)



ファブニール・ドラゴンⅡ(愛知県)



大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018(新潟県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
愛知県	手提げ袋(名古屋をイメージした書体が使われた例)	1	67
	しゃちほこ(名古屋城蔵)	2・3	19
	ファブニール・ドラゴンⅡ(アレクサンダー・カルダー, 名古屋市美術館蔵)	2・3	34
	源氏物語絵巻 橋姫(徳川美術館蔵)	2・3	94
	慧可断臂図(雪舟, 齊年寺蔵)	2・3	95
新潟県	常滑焼	2・3	97-98
	造形おかざきっ子展	2・3	102
静岡県	静岡市美術館のシンボルマーク	1	46
	ちびまる子ちゃん(さくらももこ)	2・3	39
	富士山バッグ	2・3	70
	樹花鳥獣図屏風(伊藤若冲, 静岡県立美術館蔵)	2・3	95
	群青富士(横山大観, 静岡県立美術館蔵)	2・3	96
山梨県	駿河竹千筋細工	2・3	97
	三保の松原と富士山	2・3	100
岐阜県	甲州印伝	2・3	97
	美濃和紙	2・3	97
長野県	美濃和紙の卒業証書	2・3	98
	白川郷の合掌造りの建物	2・3	100
富山県	ひとよ茸ランプ(エミール・ガレ, 北澤美術館蔵)	2・3	66
	土偶「縄文のヴィーナス」	2・3	94
福井県	木曾漆器	2・3	97
	火焔型土器 No.1	1	53
石川県	牛乳パック	2・3	71
	病院の壁の絵(NHO新潟病院 こどもとおとなのための医療センター)	2・3	86
和歌山県	小千谷縮	2・3	97-98
	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018	2・3	102
徳島県	山中漆器の汁わん	1	54
	朱漆塗片口鉢(石川県輪島漆芸美術館蔵)	2・3	89
富山県	丸谷焼	2・3	98
	富山市立図書館	1	39
富山県	富山もよう「mizu」[garasu]	1	41,43
	オノマトベの屋上(富山県美術館)	1	79
福井県	高岡銅器	2・3	98
	観光タイポグラフィポストカード「福井県」	1	44
福井県	越前漆器	2・3	98

# 近畿



太陽の塔(大阪府)



虎図換(部分)(和歌山県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
大阪府	観光タイポグラフィポストカード「大阪府」	1	44
	世界の仮面(全て国立民族学博物館蔵)	1	56-57
	火の鳥(手塚治虫)	2・3	38
	津波浸水深サイン	2・3	61
	太陽の塔(岡本太郎)	2・3	96
	光の教会(安藤忠雄)	2・3	96
京都府	大阪浪華銅器	2・3	98
	風神・雷神像(蓮華王院 三十三間堂蔵)	1	30,35
	風神雷神図屏風(依屋宗達, 建仁寺蔵)	1	31-34
	鳥獣人物戯画 甲巻(高山寺蔵)	2・3	36-37
	鳥獣人物戯画 乙巻(高山寺蔵)	2・3	39
	高台寺 圓徳院	2・3	65
	弥勒菩薩半跏思惟像(広隆寺蔵)	2・3	90
	阿彌陀如来坐像(平等院鳳凰堂蔵)	2・3	91
	不動明王坐像(東寺蔵)	2・3	91
	枯木猿猴図(長谷川等伯, 龍泉庵蔵)	2・3	92
奈良県	観音猿鶴図(猿図)(牧谿, 大徳寺蔵)	2・3	92
	平等院鳳凰堂	2・3	94
	慈照寺観音殿(銀閣)	2・3	95
	西陣織	2・3	98
	龍安寺石庭	2・3	100
	阿修羅像(興福寺蔵)	2・3	2-4
	螺鈿紫檀五絃琵琶(正倉院蔵)	2・3	90
	聖観世音菩薩立像(薬師寺東院堂蔵)	2・3	91
	持国天立像(東大寺戒壇堂蔵)	2・3	91
	南大門 金剛力士立像 阿形(東大寺蔵)	2・3	94
滋賀県	奈良筆	2・3	97
	法隆寺五重塔	2・3	100
兵庫県	東大寺大仏殿	2・3	100
	たんぼの家アートセンターHANA	2・3	103
和歌山県	観光タイポグラフィポストカード「滋賀県」	1	44
	石山寺縁起絵巻 第二巻(石山寺蔵)	2・3	39
三重県	信楽焼	2・3	98
	私への疑問(横尾忠則)	2・3	9
和歌山県	豊岡杞柳細工	2・3	97
	姫路城	2・3	101
和歌山県	伊勢形紙	2・3	98
	虎図換(長沢芦雪, 無量寺蔵)	2・3	表紙
和歌山県	紀州漆器	2・3	97
	熊野本宮大社旧社地, 大斎原の鳥居	2・3	101

# 中国四国



ゲゲゲの鬼太郎(鳥取県)



ヒロシマ・アピールズ 燃え落ちる蝶(広島県)



郷土の魅力発信プロジェクト-さぬきる!!-(香川県)



備前焼(岡山県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
広島県	ヒロシマ・アピールズ 燃え落ちる蝶	2・3	56
	ヒロシマ・アピールズ 鳥たち	2・3	56
	ヒロシマ・アピールズ ヒロシマという重石	2・3	56
	福山琴	2・3	98
	原爆ドーム	2・3	101
岡山県	蔵島神社	2・3	101
	NARUTO-ナルト-(岸本斉史)	2・3	39
鳥取県	きびだんごのパッケージ	2・3	70
	備前焼	2・3	98
山口県	島根県立美術館のシンボルマーク	1	46
	富嶽三十六景 尾州不二見原(葛飾北斎, 島根県立美術館蔵)	2・3	24
徳島県	石見焼	2・3	97
	石見銀山	2・3	101
香川県	ゲゲゲの鬼太郎(水木しげる)	2・3	19
	名探偵コナン(青山剛昌)	2・3	39
徳島県	因州和紙	2・3	97
	サーカス(逆立ち), 樽回し(香月泰男)	1	29
山口県	観光タイポグラフィポストカード「山口県」	1	44
	魚釜観世音(葛飾北斎, 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵)	2・3	30
徳島県	名所江戸百景 神田明神曙之景(歌川広重, 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵)	2・3	30
	萩焼	2・3	98
徳島県	阿波正藍しじら織	2・3	98
	郷土の魅力発信プロジェクト-さぬきる!!-	2・3	73
香川県	丸亀うちわ	2・3	97
	南瓜(草間彌生)	2・3	104-105
高知県	愛媛県 砥部焼	2・3	97
	土佐打刃物	2・3	97

# 九州



くまモン(熊本県)



伊万里・有田焼(佐賀県)



黄色地牡丹尾長鳥露文様紅型縮緬袴衣裳(沖縄県)



別府竹細工(大分県)

地域	作品名(作家名, 所蔵など)	学年	ページ
福岡県	ちはやふる(末次由紀)	2・3	39
	久留米餅	2・3	97
佐賀県	沖ノ島	2・3	101
	伊万里・有田焼	2・3	97
熊本県	伊万里焼の給食の食器	2・3	98
	みずあかり	2・3	67
大分県	くまモン	2・3	71
	西原村小森第2のみんなの家	2・3	75
長崎県	英語版「ONE PIECE」(尾田栄一郎)	2・3	93
	肥後象がん	2・3	98
宮崎県	情報コーナー(大分県立美術館)	1	79
	由布の里道(高山辰雄)	2・3	9
鹿児島県	まんじゅうのパッケージ	2・3	71
	別府竹細工	2・3	98
沖縄県	波佐見焼	2・3	97
	大浦天主堂	2・3	101
沖縄県	都城大弓	2・3	98
	本場大島紬	2・3	98
沖縄県	旧鹿児島紡績所技師館	2・3	101
	沖縄の紅型の文様	1	40
沖縄県	線彫双魚文皿(金城次郎)	1	52
	富盛の石彫大獅子	2・3	18
沖縄県	シーサー	2・3	18
	喜如嘉の芭蕉布	2・3	98
沖縄県	黄色地牡丹尾長鳥露文様紅型縮緬袴衣裳	2・3	99
	国営沖縄記念公園(首里城公園)	2・3	101